

パネルシアターワークショップ in インド (2007年)

<p>日時</p> <p>ルディアナ 8月25日(土)・26日(日) 9時30分～15時45分</p> <p>デリー 8月30日(水)・31日(木) 9時30分～15時45分</p>	<p>上演作品</p> <p>1日目</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の挨拶 幸せなら手をたたこう 3匹のヤギとトロルのお話 カレーライス わいわいバス だ・あ・れ? <p>2日目</p> <ul style="list-style-type: none"> 小さな世界 BINGO なぞなぞ忍者 どんな顔 たこ焼き パクッ!
<p>講習会の流れ</p>	<p>講習会の様子</p>
<p><1日目></p> <ul style="list-style-type: none"> 挨拶 講師紹介 アイスブレイク パネルシアター上演 (5作品) 確認(資料、スケジュール) パネルシアターの解説 (原理・制作について 「だあれ?」の上演含む) <p>～ティブレイク～</p> <ul style="list-style-type: none"> 制作 仕掛け説明 <p>～ランチ～</p> <ul style="list-style-type: none"> 手遊び 制作 片付け <p>～ティブレイク～</p> <ul style="list-style-type: none"> 今日のまとめ <p>※各会場4人1組で6グループのグループワーク形式で行なう</p>	<p><1日目></p> <p>このワークショップに大いなる理解とともにご協力くださったドリシティ私立校の理事長であるスデイシィさんによるアイスブレイクゲームをまず始めに行う(「できるだけたくさんのお名前と趣味を聞く」)。6～7校の学校が参加しているのだが、このゲームによりいろいろな人と話をすることができ、和やかな雰囲気の中で講習会を始めることができた。</p>  <p>はじめにパネルシアターの楽しさやインドの学校や授業における可能性を感じて欲しいとの目的で約30分間の上演をする。先生方は絵人形がパネル板に貼り付くことや、話や歌遊びなどの展開・進行にとっても興味を示し、積極的に参加していた。通訳を入れずに英語で上演したが、スムーズに上演することができたのはパネルの絵や演じ手のゼスチャーや表情によって理解しやすかったからではないだろうか。</p>  <p>パネルシアターに興味をもったところでパネルシアターの歴史や原理、制作手順について自作のテキストに基づき解説をし、その後課題作である「だあれ?」を上演。まずは下絵を写して絵の具で塗るという基本を学んでもらうため、ここでは、仕掛けの説明をしなかった。</p> <p>「ストーリーはオリジナルで作る」という課題から、制作は課題作「だあれ?」の下絵を使って各自「草と動物一匹」をまず作り、ストーリーに応じて新しいキャラクターを作ってもらようようにする。</p> <p>思ったよりも先生方のチームワークが良く、作業がどんどん進行していたので、制作途中で仕掛けの種類や作り方を説明する。すると先生方の中には仕掛けに魅かれ、とにかく仕掛けを・・・という方も出てきてしまい、キャラクターに合わない仕掛けを作ってしまう姿もみられた。</p> <p>そのような反省から、2回目のデリーのワークショップでは、制作手順と一緒に仕掛けの説明をし、「キャラクターの良さが生かされる仕掛けを作ること」と、「作るのは簡単だが演じるのは難しくなること」を伝えた。</p>

ランチ後は絵の具が配られ、皆楽しそうに色を塗っていた。日本とは違う色彩感覚で塗られていたのが楽しく、感心する。

最後にスデイシィさんが「今日のワークショップで何をしたのか?」「何を学んだのか」という質問を先生方に投げかけ考えさせた後、「パネルシアターは多くの視覚や聴覚を使うため集中できるし、記憶にも残る。脳をたくさん使う教材である」語っていた。



< 2日目 >

- ・ 挨拶
- ・ パネルシアター上演
(5作品)
- ・ パネルシアターの解説
(演じ方について)
- ・ 制作の続き

～ティブレイク～

- ・ 制作仕上げ
- ・ 演じる練習
- ・ アンケート記入

～ランチ～

- ・ 発表
- ・ 修了式

～ティブレイク～

< 2日目 >

私達が到着する前に来校して制作をしている先生が多数おり、その熱心さに驚くと共に嬉しく思う。



まず、昨日とは違うタイプやパターンのパネルシアターを上演。その後、今日のメインである演じ方の注意点を説明し、制作を完成させる。難しい仕掛けに取り組んだグループもあり、仕上げにやや苦戦しているところもあった。

出来上がったグループから1グループ1枚用意されたパネル板で演じ方の練習をする。初めてとは思えないくらい表現豊かに話されている姿を見て「やはり先生だなあ」と感心する。

ランチ後、1グループ5分で発表会を行なう。ルディアナの先生方はオリジナルストーリーを作って発表するグループがほとんどだったが、デリーの先生方は既製の話のパネルにするグループが多かった。しかし、どちらも歌をうたうグループあり、踊りを入れるグループあり、それぞれが個性豊かに発表しており、とても楽しい発表会となった。演じている先生方も生き生きと楽しそうに演じていたのが印象的だった。

